

日本の技術でマレーシアのアスベスト健康被害を削減

株式会社エコ・24が日本唯一の無害化工法活用に向けた調査を実施

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)において株式会社エコ・24(東京都港区、波間俊一代表取締役社長)が提案する「アスベストによる健康被害防止のための無害化剤・無害化工法の導入に向けた案件化調査」(マレーシア)を採択しました。

マレーシアでは中皮腫や肺がん等の重大な健康被害を引き起こすアスベストの使用に関する法規制が十分には整備されていないため、将来的に中皮腫や肺がん等の重大な健康被害の顕在化が懸念されています。本調査では、エコ・24の技術であるCAS工法(アスベスト処理の新工法)を活用して、アスベスト対策を中心としたマレーシアの労働安全衛生・環境対策強化への貢献を目指します。

エコ・24のアスベスト対策は、独自の含浸固化材「エコベスト」を低圧噴霧により表層から浸透・含浸させアスベスト層全体を固化処理するCAS工法です。構造物の性能を維持したままアスベストを含浸固化し、人体への影響を無害化する点が特長の一つです。石綿飛散防止剤としては唯一、内閣府が所管する(一社)日本建設機械施工協会施工技術総合研究所から無害化認定されています。

CAS工法によるアスベスト無害化の流れ



(注)「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(ニュースリリース) 案件化調査 2016年度第2回公示分の採択について

URL: https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 佐橋 (案件担当)、橋本 (広報担当)
 TEL 03-5226-9283 e-mail : pdtfs@jica.go.jp